

1

輝くこどもたち



1. 輝くこどもたち【子育て・教育】

① こども・子育て支援の推進

チャレンジ! ■ 10年後のめざす姿

オールまつさかで応援! 「こどもまんなか」のまち

多様な価値観・考え方を尊重し、自分らしい妊娠・出産・子育ての希望をかなえられるよう、切れ目なくこどもの成長を支えるとともに、オールまつさかでそれぞれの立場から子育てを応援できるまちをめざします。

■ 現 状

- 物価高騰も相まって、子育てにかかる経済的負担感の高まりやこどもの貧困問題などの社会問題が増加しています。
- 児童虐待に関する社会の関心の高まりや家族形態、家庭環境の変化などから児童虐待等の相談数が増加しています。また、関係者が把握していないヤングケアラーが潜在している可能性もあり、実態把握を進めていく必要があります。
- 子育てをやる中で抱える不安や悩みが多様化しています。
- 発達に心配があるこどもに関する相談内容が多様化しており、こどもを見守る機関の専門性が増しています。
- 放課後や長期休業中における放課後児童クラブの利用希望者が増えています。
- 働く女性が仕事をしながら産み育てるのにまだ多くのハードルがあります。

■ 課 題

- 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減、多子世帯への経済的支援が必要です。
- 児童虐待やヤングケアラーなど、こども、児童、家庭に関わる相談に迅速かつ適切に対応する必要があります。
- こども・子育て支援に関する多種多様化した相談ニーズに対して、各種機関との連携を図り、迅速かつ適切に対応する必要があります。
- 安心して産み育てるために妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援が重要です。
- 放課後児童クラブの利用に際し、保護者の負担をより軽減する必要があります。
- 家庭だけでなく、地域社会全体でこどもを育てる環境づくりが必要です。

■ 主な取組

- **New!!** 児童手当の支給要件を拡充して子育てにかかる経済的支援を強化します。若者・福祉
- **New!!** 出産・子育てに関する経済的支援(たまごギフト・ひよこギフト)を実施して相談支援につなげます。若者・福祉
- **New!!** 第3子以降の児童生徒に対し、給食費の無償化を行い経済的負担の軽減を図ります。若者・福祉
 - こども医療費助成・一人親家庭等医療費の助成により、子育て世帯への経済的負担の軽減に取り組めます。若者・福祉
- **New!!** 母子保健と児童福祉の一体的な体制で予防的視点をもった連携とともに児童虐待等への専門的相談対応、関係機関との連絡調整を行い迅速かつ円滑な相談体制を推進します。若者・福祉
- **New!!** こどもとの関わり方に悩みを抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、親子間における適切な関係性の構築を図る講座を実施します。若者・福祉
- **New!!** ふだん保育所等に通っていないこどもを対象に「こども誰でも通園制度」を実施します。若者・福祉
 - 親とこどもの交流の場として、子育て支援センターの利用促進に努めます。若者・福祉
 - 支援を必要とするこどもの就園就学等の相談支援を早期から他機関と連携して行います。若者・福祉

- **New!!** ひとり親家庭に有益な情報をLINEで発信するLINE公式アカウント「松阪市ひとり親家庭支援」の運用を開始します。若者・福祉
- **New!!** 流産・死産の経験がある方への相談窓口や、産後ケアなど受けられるサービスの情報提供を行います。若者・福祉
 - 療育を必要とするこどもの保護者等を対象としたペアレント・トレーニングの充実を図ります。若者・福祉
- **New!!** 放課後児童クラブの運営に指定管理者制度を導入していきます。若者・福祉 公民連携
 - 病児・病後児保育と一時預かり保育を充実します。若者・福祉
 - 仕事と子育ての両立に積極的に取り組む事業者を増やすため、「くるみん認定」(厚生労働省)を受けた事業者へ奨励金を支給します。若者・福祉 公民連携
 - 積極的にこどもや子育てにやさしい取組をしている事業所を「松阪市子育てにやさしい事業所」として認証、また授乳・おむつ替え等の設備を無償で使用できる事業所を「赤ちゃんの駅」として認証し、ホームページ等で周知します。若者・福祉 公民連携

関連計画

- 松阪市子ども・子育て支援事業計画(R7年度より松阪市こども計画に包含)
- 松阪市障がい児福祉計画
- 松阪市教育ビジョン

数値目標

項目	現状(R5年度)	目標(R9年度)	目標種別
妊娠届出時面談におけるサポートプラン作成率	—	100.0%	➡
児童虐待による死亡等重篤事例件数	0件	0件	➡
就学時等における発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度	90.0%	95.0%	↗
こども誰でも通園制度の実利用者数	—	100人	↗
指定管理者制度に変更した放課後児童クラブ数	0クラブ	10クラブ	↗

横断的取組

- **若者定住・福祉社会の実現**
 - 安心して子育てできるまちになることで、子育て世代の定住につながります。
 - 子育てにやさしい事業所認定やくるみん認定取得奨励金により、事業主の取組を促進することで子育てと仕事の両立が図られ、若者世帯の定住につながることを期待できます。
- **公民連携の推進**
 - 放課後児童クラブの運営について、民間事業者を指定管理者にすることで、放課後児童クラブ運営の合理化が期待できます。
 - 事業所と連携して、働きながら安心して子育てできるまちづくりに取り組みます。

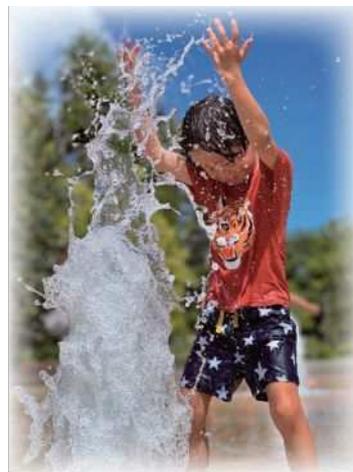
第3章 基本計画

■ 再定義の視点

- ◆ こどもが生まれる前から大人になるまで切れ目ない育ちの環境を支援することで、シビックプライドの醸成が図られ、定住率の向上、地域を次世代につなげる好循環が生まれます。
- ◆ 保護者の子育てに対する不安解消や仕事と子育ての両立を応援することで、少子化対策や地域経済の活性化が図られます。

■ 市民ができること

- ◆ 地域ぐるみでこどもを育てましょう。
- ◆ 児童虐待防止やヤングケアラーの把握のため、気になることや心配な様子があれば、こども家庭センターや児童相談所等に通告しましょう。
- ◆ 子育てをする人同士の仲間づくりをし、相談できる人・場所を見つけましょう。
- ◆ こどもと一緒に地域イベント等へ参加しましょう。





1. 輝くこどもたち【子育て・教育】

②未就学児への支援

チャレンジ! ■ 10年後のめざす姿

保育サービス充実でこどもの笑顔100%のまち

大切な乳幼児期に質の高い教育・保育を提供することで、こどもの健やかな成長と子育て中の保護者を支援します。

■ 現 状

- 仕事をしながら子育てをすることにまだ多くのハードルがあります。
- 多様な働き方やライフスタイルにより様々な保育ニーズへの対応が求められています。
- 保育士の配置基準が見直され今後、更に保育士が不足することが予想されます。
- 保育園・こども園・幼稚園施設の老朽化や、少子化に対応するために、施設の整備、再編・統廃合が必要となっています。

■ 課 題

- 仕事と育児を両立できるよう保護者の希望に沿った入園ができる体制が必要です。
- 保護者の負担軽減のための充実した保育サービスが求められています。
- 将来にわたり安定した保育人材確保のため、人材育成支援の取組が必要です。
- 保育園・こども園・幼稚園施設の整備、再編・統廃合を行う必要があります。

■ 主な取組

- **New!!** 保護者が、育児休業から復職されたタイミングで入園ができるよう入園予約事業を行います。若者・福祉
- **New!!** 家庭での保護者負担を軽減するため、エプロンや手口ふきのサブスク(定額でのサービス提供)を実施します。若者・福祉
- 入園申込みや子育てに関する手続きをオンライン化します。若者・福祉
- **New!!** 安定した保育所運営のため将来を見据えた保育人材の確保対策を行います。若者・福祉 公民連携
- 保育園・こども園・幼稚園のあり方を検討し施設の再編・統廃合等を進めます。

■ 関連計画

- 松阪市子ども・子育て支援事業計画(R7年度より松阪市こども計画に包含)

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R5年度)	目標(R9年度)	目標種別
保育園待機児童数(4/1国基準)	0人	0人	▶
育児休業明け入園予約申込みに対する利用児童数の割合	—	100%	↗
入園申込みのオンライン申請率	7%	80%	↗
エプロン・手口ふきのサブスクに関する保護者満足度	—	90%	↗

横断的取組

● 若者定住・福祉社会の実現

- 保護者が、育児休業から復職されたタイミングで入園が希望どおり実現することで、仕事と子育ての両立の一步が図られ、子育て世代の定住につながります。
- 多様な働き方やライフスタイルが広まる中で、いつでもどこからでも子育てに関する手続きがオンラインで行えたり、手ぶらで登園ができることで、子育て世代が便益を感じ定住率向上が期待できます。
- 未来の保育士をめざす若者を対象に、保育施設の見学や就職相談会を開催し地域で保育士の夢を実現できるよう支援することで、若者の定住が期待できます。

● 公民連携の推進

- 保育人材確保のための、保育施設の見学や就職相談会を私立保育園と連携・協力しながら進めることで市全体の保育環境の向上が図られます。

■ 再定義の視点

- ◆ 未就学児への支援を充実させることで仕事と家庭の両立が図られ、市民のワークライフバランスの向上、女性の活躍推進の実現につながります。
- ◆ 施設整備を進めていくことで、健全な行財政運営につながり、ゼロカーボンシティの実現に寄与します。

■ 市民ができること

- ◆ 地域ぐるみで子どもを育てましょう。
- ◆ 保育士の多様な働き方を支援しましょう。
- ◆ 子育てに関する手続きにオンライン申請を利用しましょう。

1. 輝く子どもたち【子育て・教育】

③学校教育の充実

チャレンジ! ■ 10年後のめざす姿

全ての子どもが夢と希望を持ち、安全で安心して学ぶことができるまち

家庭や地域、学校が協働し、それぞれの教育力を高め合い、全ての子どもたちが安全で安心して生活し、社会の中で自立しようと意欲的に学ぶことのできるより良い教育環境をつくります。

■ 現 状

- 子どもたちの抱える困難が、多様化・複雑化しており、地域社会の教育力の向上が求められています。
- 様々な要因から不登校児童生徒数が増加しており、子どもたちが安全で安心して学習できる環境の整備が引き続き必要です。
- 子どもたちの健康課題が多様化し、生活環境の変化が健康に与える影響が顕著になっています。
- 生活の多様化に伴い、偏った栄養摂取や不規則な食事など、子どもたちの食生活には様々な課題がみられます。
- 学校施設(校舎・体育館等)の老朽化が進んでいるため、大規模な災害が発生した際に、学校施設が使用できなくなる可能性があります。
- 学校におけるICTの効果的な活用を進めるとともに、教育データを効果的に利活用し、エビデンスに基づいた取組や施策に生かしていく必要があります。

■ 課 題

- 子どもたちの主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要があります。
- 地域と学校の連携・協働体制の構築の取組であるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を更に進める必要があります。
- 学校における健康教育・安全教育を更に推進していく必要があります。
- 学校給食を通して、「食」に関する正しい知識や情報を学習し、自ら判断できる能力を身に付けることを更に進めていく必要があります。
- 大規模な災害が発生した際に備え、子どもたちが安全で安心して教育を受けることができるよう学校施設の防災機能強化を図る必要があります。
- 学校におけるICTの効果的な活用を進めるとともに、教育データを効率的に活用し、学習指導や校務の効率化を図る必要があります。

■ 主な取組

- コミュニティ・スクールの充実を図り、地域とともにある学校づくりを進めます。公民連携
- New!! 夢と希望を持ち、可能性を最大限に発揮できるよう、ICTの活用等により個別最適な学びと協働的な学びの一層の充実を図ります。若者・福祉 公民連携
- New!! 安全安心な学びの場を保障し、誰一人取り残さない不登校児童生徒支援等の取組を推進します。公民連携
 - 子どもたちの健康的な生活習慣の確立に取り組みます。
 - 給食だよりで給食のレシピを掲載するなど、食育に関しての啓発に取り組みます。
- New!! 非構造部材(内外装材、照明設備等)の耐震化対策に取り組み、学校施設の防災機能を強化します。
- New!! データの利活用により指導力の向上や校務の効率化を図ります。

関連計画

- 松阪市教育大綱
- 松阪市教育ビジョン
- 松阪市学校施設等長寿命化計画

数値目標

項目	現状(R5年度)	目標(R9年度)	目標種別
「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	74.2%	80.0%	↑
「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	83.1%	87.0%	↑
学級満足度尺度調査(Q-U)の満足度 ※学校生活・活動に満足し、意欲的に取り組んでいる子どもたちの割合	67.0%	69.0%	↑
「毎日朝食を食べている」と回答した児童生徒の割合	小92.8% 中91.0%	小96.0% 中92.0%	↑
むし歯のない児童生徒の割合	小59.8% 中65.5%	小69.5% 中71.5%	↑
食文化や行事食などの給食献立回数	35回	50回	↑
非構造部材の耐震対策実施済学校の割合	25.5%	38.3%	↑
教育データの利活用を通じて、学習指導や校務効率化に取り組んだ学校の割合	—	80.0%	↑

横断的取組

- **若者定住・福祉社会の実現**
 - 「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出すことで、自己実現や積極的な社会参画につながります。
 - ICT先進地「まつさか」としてのモデルを創出し全国に発信します。
- **公民連携の推進**
 - 災害や緊急時を想定した献立に非常時に提供される食品の活用を図ります。
 - 大学や企業との連携を生かし、より良い学びの環境づくりを進めます。

再定義の視点

- ◆ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで、学校を核とした地域づくりにつながります。
- ◆ 学校施設の防災機能を強化することは、避難所の防災機能強化にもつながっています。
- ◆ 校務の効率化を図ることで、子どもたちと向き合う時間が増加し、子どもたちの豊かな成長につながります。
- ◆ 家庭や地域、学校が連携協力しながら、一体となって地域の子どもたちを育てることにより、こどもの豊かな育ちを確保するとともに、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てます。

第3章 基本計画

■ 市民ができること

- ◆ 家庭・地域・学校が一丸となって児童生徒の教育に取り組みましょう。
- ◆ 学校支援ボランティアに参加し、登下校の見守りや本の読み聞かせなどに関わったり、農業体験や職場体験学習、探究的な学習に協力したりしましょう。
- ◆ 体調管理や健康増進に努め、健康について自ら考え実践していきましょう。
- ◆ こどもと過ごす時間を大切にしましょう。